

高山駅周辺地区まちづくり協議会

第4回 公共空間検討部会

日 時 平成18年10月16日 (13:30~15:50)

場 所 高山市役所 中会議室(4階)

1. 開会
2. 駅周辺整備推進室長挨拶
3. 部会長挨拶
4. 議事

公共空間検討部会の進め方について

[協議事項]

- 現在の駅前広場の状況説明
- 駅前広場の特徴について

※ 駅東側の特徴を説明する時に、歴道からの歩行者動線についても説明する。

「ウォーキングをテーマとしたまちづくりの推進」

部会長

- ① 公共空間検討部会の委員（関係者）から意見を聞く。

※ 濃飛バス、タクシー、送迎バス等

(配置について意見を聞く。)

○ 駅前広場計画のポイントについて

歴道からの歩行動線を考えると自由通路の位置はどこが良いか、また階段はどのような形状が好ましいかについても聞く。

② 委員からの意見をもとにして、

駅前広場計画のポイントにしたがい検証する。

※ 安全性を考えた場合どうなのか。

わかりやすい配置を考えるとどうか。

緑地・安らぎ空間は、など

③ A0程度の平面図に記入しながら部会長が中心となって検証する。

駅東側広場について

駅西側広場について

※ 委員からの意見及び検証内容を参考にして、事務局で駅東広場の計画2～3(案)、

駅西広場の計画 1(案)を作成する。

(個別に各委員の意見も聞いて)

○ 駅舎・自由通路・駅前広場のイメージについて

(次回、公共空間検討部会に協議する。)

質疑応答(委員からの意見)

委員： 高速バスの運行について

(バスセンター) 予約センターの座席表で行っている。

丹生川でも乗れるが、主に高山バスセンターで9割が利用しているため、今後も駅前(駅東)を利用したい。

「駅東の広場について」

広場を利用して、今まで事故が無い理由

バスの待機スペースは、JRの構内営業権により濃飛バスが単独で使用している。

また、乗車スペースは濃飛バスの構内を利用しており、他のバスが入っていないから事故が無い。

また、路線バスは定時運行であり、駅前広場(公共バススペース)を送迎バス等が混在して利用すると、路線バスの出発が遅れたりする原因となる。

公共交通専用のバスバースをお願いしたい。

会長： 駅西はどうですか。

委員： 「路線バス」駅西方面のルートของバス停が必要である。

(乗降スペースが一台分あればいい。)

会長： タクシーはどうですか。

委員： 駅東側広場は、

現在と同じくらいあれば良い。

駅西広場は

降車スペース 1台

乗車スペース 1台

待機スペースは少なくてよい。

「駅西広場は、真光の行事がある日(特別な日)以外は問題ない。」

※ タクシーの待機については、ナビゲーションで駅に何台待機しているかを管理している。

会長： 送迎バスはどうですか。

委員： 送迎バスの現状だが、花里本母線の駅舎側3台以外にも、ワシントンホテル側に2台くらい停まっている。

送迎バスは、駅にお客さんを迎えに来たら、どこかに車を止めるしかない。

(違法駐車であっても止めるしかない。)

※ JRのお客を迎えに行くのに、なぜJR駅前(構内)に入れないのかとの意見も出ている。

会長：送迎バスのスペースは何台くらい必要ですか。

委員：どれだけとは言えないが、スペースがなければ「違法駐車」となる。
「スペースは多ければ多いほどよい。」

※ 高山市は合併により広くなり、今後は旧高山市以外からの送迎も考えられる。

委員：タクシーは「ポーター」を雇って管理している。
旅館の送迎バスも、管理する人を雇ったらどうか。

委員：送迎バスは時間が不規則なので、タクシーのようにはできない。

委員：送迎バスは駅西を利用したらどうか。

委員：（JRアンダーが通れない。）

駅東側のホテルは駅東側の広場を利用したい。

（送迎バスの運転をフロントがやっている。時間が足りない。）

※（駅前広場に）送迎バスが全部入れるのが理想だが、少しでも多くのバスが止まれるようにしてほしい。

会長：自転車はどうですか。

事務局：駐輪スペースとしては、公社駐車場に202台のスペースがあります。

また、現在の利用状況としては、

高校生（駅利用者）が約200人自転車を利用していて、その内約100人（115人）は公社の駐車場を利用しています。それ以外の約100人は他の有料駐車場を利用しています。

高校生が約200人ですが、

駅東側として、斐太高校他があり、また駅西では、飛騨高山高校などがあり、駅東西への分散も考えられる。

全体で考えて、高校生約200人に一般の方が50人～100人くらいと見ている。

しかし、「必要台数は把握していない。」

過去には、駐輪場の規模を駅東約200台、駅西約200台としている資料もある。

（ふるさとの顔づくり計画 平成13年3月）

会長：駐輪場の規模については、事務局で検討をお願いします。

会長：交通安全の観点からはどうですか。

委員：交通安全について言うと、

- ・ 車と歩行者を分ける。
- ・ 道路に車を止めない。
- ・ 右折のある道路には信号機を設置する。

信号機が設置しやすい環境をつくる。（右折レーンの設置など。）

委員：前回の公共空間検討部会で出た意見だが、（現在の駅前広場の）駅から駅前広

場への横断が危険との意見があったが、どのような対策を取るのか。

会長：例えば、広場部分を花里本母線までつなげて、車が通行する部分を無くして歩行者が安全に歩けるようにする。(平面図を使って検証)

委員：濃飛バスの動線について

濃飛バス敷地から花里本母線へ出る時に、バスが右折できるか。

平面図によって説明する。

濃飛の建物がL字の時など(R6-1利用をぼかして)を例にして

委員：公安として右折がダメとは言えない。

「周りの状況を含めた検討が必要となる。」

会長：平面図でバス部分と一般車等で分けた時、

南側(一般車等)の部分が非常に狭くなるが、駅前広場の南側部分にもう少し土地があると良いのに。(交差点部分まで)

この土地はどここの土地か。

事務局：土地開発公社(高山市)の駐車場用地です。

委員：この公社の土地が使えれば最高である。

事務局：みなさんの意見が、公社の土地を使った方が良いと言うことであれば、検討をしなくてはいけない。

委員全員：「公社の土地を使った方が良い。」

会長：みなさんの意見が、公社の土地を使った広場計画が良いとのことなので、「公共空間検討部会としては、公社の土地を使った駅前広場計画を高山市に対して提案するようにしたい。」

会長：駅前広場の機能について意見をいただきたいと思います。

委員：駅前広場の緑地は、駅舎に近づけて整備したほうが良い。

(現在の広場は利用が少ない。)

また、緑地の規模は今くらいで良い。

委員：公園整備(緑地)は必要だと思うが、高山市の旧図書館では緑地をつくったために、車が止まれず不便だった。

駅前広場にしても、緑ばかりでなく車が止まれる空間が必要だ、安全性重視で計画しなくてはいけない。

高山らしさは、緑でなくても看板を木製にするとか、ソフト面も含めて検討してほしい。

また、(高山に来る)お客さんは駅前だけを見ているわけではない。緑は「まち中スポット」等で考えて行けばいいのではないか。

(駅前是最小限で良い。)

会長：タクシーの乗降位置はどこが良いですか。

委員： 現在と同じような位置が良い。

また、タクシーはそんなに多く止められなくて良い。

(待機スペースは10台程度あれば良い。)

東側駅前広場には、構内営業権ではないが、駅前広場管理のために受益者がある程度お金を出した方がよい。

「駅前広場のルール作りが必要だと思う。」

会長： バスはどうですか。

委員： 送迎バスとの混在は困る。

送迎バスと混在して広場を使った場合は、バスが帰って来ても、停車スペースが送迎バスで埋まっていたりする可能性がある。

委員： 路線バスは列車の時間に合わせた運行をしているのか。

委員： 合わせている。

委員： それだと、送迎バスと路線バスが同じ時間に駅前広場を利用することになる。

委員： 送迎バスと混在すると危険だ。

委員： 公共のバスと送迎バスは分けた方がよい。

事務局： 送迎バスですが、

バスで送迎に来ていても少人数(2人~3人)のこともある。

送迎する人数で車の大きさを替えたりできないか。

委員： 社用車は決まっている。

(個人の車で迎えに行くことはできない。)

会長： 花里本母線への出入り等はどうですか。

委員： 交差点は少ない方がよい。

出入り口も集められるものは集めた方がよい。

会長： 交番の位置はどうですか。

委員： 交番の担当でないので良く分かりませんが。

自由通路からも近く、真ん中付近にあるのが良いと思う。

会長： パトカーは何台くらい置くのか。

委員： 1台ですが、2台置くこともある。

会長： 観光案内所はどこが良いですか。

事務局： 人の動線を考えるとどうですか。

委員： 駅の東西のことを考えると、観光案内所は改札の前が良い。

委員： 美濃加茂の駅は、観光案内所が改札の前にありましたね。

会長： 観光案内所だけでなく、トイレも自由通路(2F)部分にあると便利ですね。

会長： 自由通路はどのような通路が良いと思いますか。

例、自由通路へ上がる階段は真直ぐにした方がよいなど。

(エスカレーターを設置した場合を含めて)

委員： エスカレーターはあった方が良い。また、自由通路に向かって真直ぐ上がるのが良い。

会長： 一般の車はどの部分になりますか。

委員： 一般車がいると除雪の時に困る。

委員： この前の部会で、融雪も考えるということだったから、除雪は良いのでは。

委員： 一般車は今と同じように、タクシーの後ろ(南側)で良いと思う。

※ 平面図上で一般車とタクシーの動線の検証

委員は現在の動線と同じ動線が良いと考えているようだ。

(入り口と出口が別)

会長は「岐阜羽島駅」の広場を紹介(広場の周りをタクシーとして、一般車が中心部を使う。(一般車エリアにはタクシーの通路の横断が必要となる。))

会長： 送迎バスのエリアですが、案として

バスエリア付近、

現在のように花里本母線の待避所、

会社の土地のJR線路側 などがありませんね。

委員： バスエリアとは完全に分けてほしい。

委員： 花里本母線の道路部分はダメですよ。

会長： 待避所を設置した場合ですが。

(待避所を設置すると駅前広場の部分が狭くなりますが。)

委員： 待避所ですか。

委員： 道路部には車が止まらないのが良い。

事務局： 会社の土地を仮に駅前広場として使った場合でも、少しは一般車の駐車場が必要だ。(現在、駅東に100台くらいの駐車場があるのに、駅東から駐車場を無くしてしまうのには問題がある。)

委員： 具体的な図面がないと分からない。

(車の回転半径等を入れた図面)

会長： 駅西の機能について意見ををお願いします。

委員： 濃飛バス以外の貸し切りバス が駅からお客を乗せることがある。

このようなバスが駅西を利用できるようにしてほしい。

会長： 駅西については、あまり意見がないようなので、(基本的なレイアウト)事務局で案を書いてもらいましょう。

会長： それでは、今いただいた意見を参考に、

事務局で、駅東は2～3案

駅西は1案 作成して下さい。

事務局で作った（案）を基に、次の公共空間検討部会で検討しましょう。

また、「駅舎・自由通路・駅前広場のイメージについて」は次回の公共空間検討部会での協議としましょう。

それでは、次の公共空間検討部会ですが、

（年内に一回、年明けに一回）と言うことで、

次を12月くらいに行いたいと思います。

委員： できるだけ早くやれ。

事務局： はい、わかりました。

本日はありがとうございました。